

資料3 （県立こころの医療センター関係）

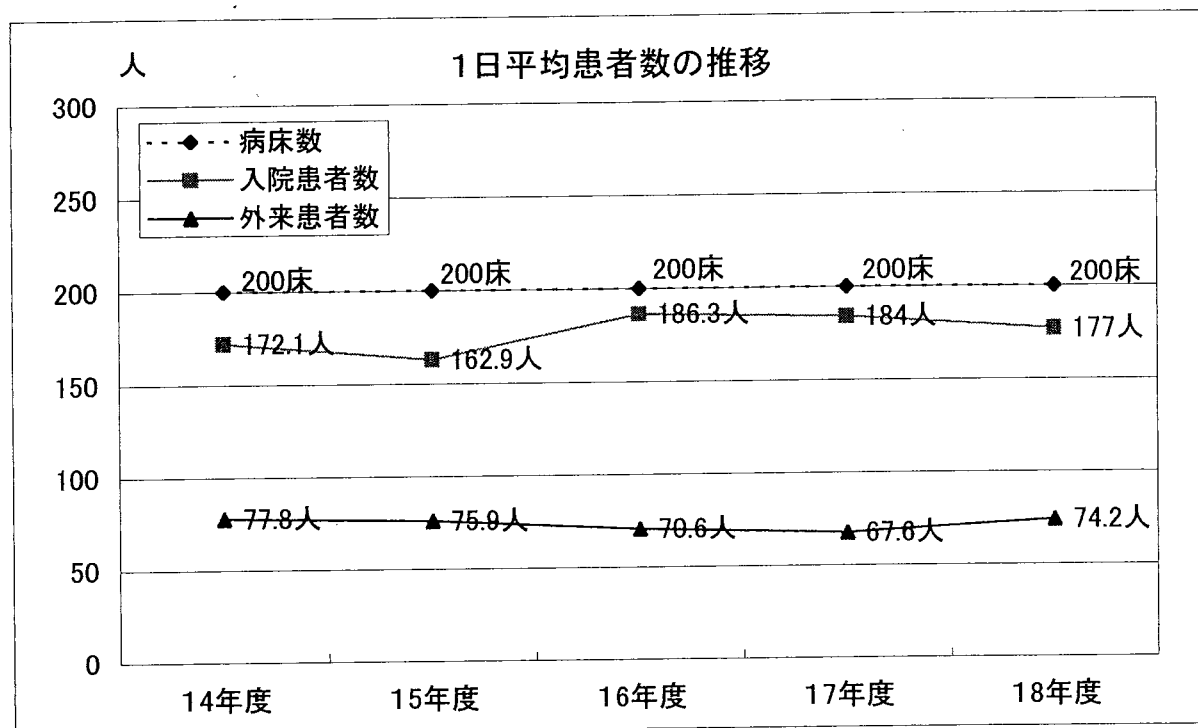
	頁
8 県立こころの医療センターの概要・・・・・・・・・・	1
9 県立こころの医療センターの経営状況・・・・・・・・	2
10 県立こころの医療センターの今後の収支見通しについて・	5

山口県立こころの医療センターの概要

開設時期	昭和28年4月1日																																																		
所在地	宇部市大字東岐波4004番地の2（昭和43年11月1日、現在地に移転開院）																																																		
許可病床数	精神病床 180床																																																		
診療科目	精神科、神経科																																																		
職員状況	145人（正規111人／非常勤・臨時的任用34人）H20.4.1現在																																																		
正規 内訳	医師：7人、看護師・准看護師：76人、薬剤師：3人、 作業療法士：3人、栄養士1人、その他21人																																																		
特徴等	◇「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」に基づき県が設置した精神科病院 第19条の7 都道府県は、精神科病院を設置しなければならない。 ◇精神科救急医療体制 ○ 民間で対応が困難な患者の受入れ <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>16年度</th><th>17年度</th><th>18年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>当院の措置入院患者数 (人)</td><td>14 (26.4%)</td><td>14 (25.0%)</td><td>20 (35.1%)</td></tr> <tr> <td>県内の措置入院患者数 (人)</td><td>53</td><td>56</td><td>57</td></tr> <tr> <td>当院の応急入院患者数 (人)</td><td>2 (13.3%)</td><td>5 (27.8%)</td><td>1 (5.9%)</td></tr> <tr> <td>県内の応急入院患者数 (人)</td><td>15</td><td>18</td><td>17</td></tr> </tbody> </table> ○ 輪番病院等における円滑な患者受入のための連絡調整（精神科救急情報センター） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>16年度</th><th>17年度</th><th>18年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>精神科救急情報センターの対象となった患者数 (人)</td><td>223</td><td>190</td><td>253</td></tr> <tr> <td>うち当院受入 (人)</td><td>27</td><td>25</td><td>38</td></tr> <tr> <td>うち輪番病院受入 (人)</td><td>144</td><td>145</td><td>139</td></tr> <tr> <td>その他 (人)</td><td>52</td><td>45</td><td>76</td></tr> </tbody> </table> ○24時間精神科医療相談（精神科救急情報センター） <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>16年度</th><th>17年度</th><th>18年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>相談件数</td><td>2,159</td><td>4,061</td><td>3,297</td></tr> </tbody> </table>				16年度	17年度	18年度	当院の措置入院患者数 (人)	14 (26.4%)	14 (25.0%)	20 (35.1%)	県内の措置入院患者数 (人)	53	56	57	当院の応急入院患者数 (人)	2 (13.3%)	5 (27.8%)	1 (5.9%)	県内の応急入院患者数 (人)	15	18	17		16年度	17年度	18年度	精神科救急情報センターの対象となった患者数 (人)	223	190	253	うち当院受入 (人)	27	25	38	うち輪番病院受入 (人)	144	145	139	その他 (人)	52	45	76		16年度	17年度	18年度	相談件数	2,159	4,061	3,297
	16年度	17年度	18年度																																																
当院の措置入院患者数 (人)	14 (26.4%)	14 (25.0%)	20 (35.1%)																																																
県内の措置入院患者数 (人)	53	56	57																																																
当院の応急入院患者数 (人)	2 (13.3%)	5 (27.8%)	1 (5.9%)																																																
県内の応急入院患者数 (人)	15	18	17																																																
	16年度	17年度	18年度																																																
精神科救急情報センターの対象となった患者数 (人)	223	190	253																																																
うち当院受入 (人)	27	25	38																																																
うち輪番病院受入 (人)	144	145	139																																																
その他 (人)	52	45	76																																																
	16年度	17年度	18年度																																																
相談件数	2,159	4,061	3,297																																																

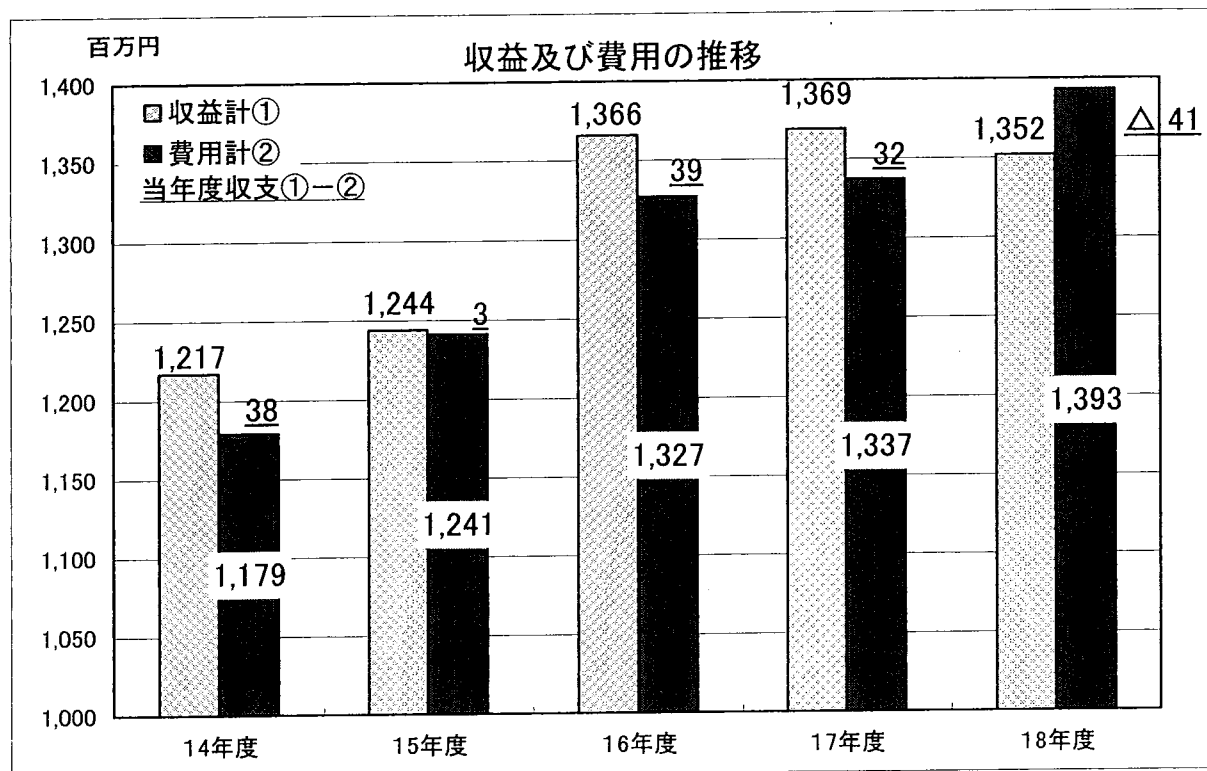
山口県立こころの医療センターの経営状況

1 年度推移



	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
病床数(年度当初)	200	200	200	200	200(180)
()内は年度途中での変更					

業務量	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
入院患者数	62,811	59,638	68,009	67,152	64,589
1日平均患者数	172.1	162.9	186.3	184	177
外来患者数	19,072	18,667	17,156	16,505	18,172
1日平均患者数	77.8	75.9	70.6	67.6	74.2



(単位: 百万円)

区 分	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
医 業 収 益	967	989	1,110	1,103	1,096
入 院 収 益	775	793	919	905	887
外 来 収 益	136	141	139	144	164
他会計繰入金(ア)	55	54	49	48	43
そ の 他	1	1	3	6	2
医 業 外 収 益	250	252	254	266	256
他会計繰入金(イ)	224	205	205	218	207
そ の 他	26	48	49	48	49
特 別 利 益	0	3	2	0	0
収 益 計 ①	1,217	1,244	1,366	1,369	1,352
医 業 費 用	1,110	1,184	1,301	1,288	1,368
職 員 給 与 費	777	832	918	888	904
材 料 費	162	159	168	170	189
経 費	155	177	199	217	260
減 価 償 却 費	12	13	13	10	11
そ の 他	4	3	3	3	4
医 業 外 費 用	69	57	24	49	25
企業債利息 等	7	7	6	5	6
そ の 他	62	50	18	44	19
特 別 損 失	0	0	2	0	0
費 用 計 ②	1,179	1,241	1,327	1,337	1,393
当年度収支 ①-②	38	3	39	32	△ 41
累 積 欠 損 金	284	285	324	354	311

収益の収支繰入金(ウ)=(ア)+(イ)	279	259	254	266	250
資本的収支繰入金(エ)	16	5	10	10	11
他会計繰入金 計(ウ)+(エ)	295	264	264	276	261

年度末職員数	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
医師	4	5	5	5	6
看護師	59	64	64	64	66
准看護師	1	1	1	1	1
医療技術員	6	6	6	6	8
事務職員	9	10	9	10	8
その他職員	14	14	14	13	12
計	93	100	99	99	101

出典：総務省「地方公営企業年鑑」

主要指標	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度
① 経常収支比率	103.2%	100.0%	102.9%	102.4%	97.1%
② 職員給与費対医業収益比率	80.4%	84.1%	82.7%	80.5%	82.5%
③ 病床利用率	86.0%	81.5%	93.2%	92.0%	89.2%
④ 平均在院日数(一般病床)	238日	339.8日	335.8日	351.6日	230.7日
⑤ 入院診療単価	12,334円	13,287円	13,520円	13,482円	13,728円
⑥ 外来診療単価	7,141円	7,570円	8,096円	8,698円	9,027円
⑦ 医業収支比率	87.1%	83.5%	85.3%	85.6%	80.1%
⑧ 材料費対医業収益比率	16.8%	16.1%	15.1%	15.4%	17.2%

出典：総務省「地方公営企業年鑑」

2 指標比較

区分	山口県立 こころの医 療センター	都道府県立 類似7病院	都道府県・ 指定都市立 32病院	その他公的 5病院	私的 17病院
① 経常収支比率	97.1%	100.5%	64.4%	100.3%	101.7%
他会計繰入金を除く	79.1%	63.5%	64.4%	100.3%	101.7%
② 職員給与費対医業収益比率	82.5%	112.2%	111.0%	69.1%	63.5%
他会計繰入金を除く	85.9%	112.3%	111.0%	69.1%	63.5%
③ 病床利用率	89.2%	79.9%	74.3%	98.1%	91.6%
④ 平均在院日数	230.7日	—	156.65日	237.38日	283.8日
⑤ 入院診療単価	13,728円	14,919円	14,627円	13,995円	14,080円
⑥ 外来診療単価	9,027円	6,735円	7,846円	7,073円	8,223円
⑦ 医業収支比率	80.1%	65.9%	66.3%	103.6%	101.0%
他会計繰入金を除く	77.0%	65.9%	66.3%	103.6%	101.0%
⑧ 材料費対医業収益比率	17.2%	11.3%	14.1%	7.4%	10.9%
他会計繰入金を除く	17.9%	11.3%	14.1%	7.4%	10.9%
出典	総務省「地方公営企業年鑑」		全国公私病院連盟「病院経営実態調査報告」		

1. 「地方公営企業年鑑」欄は、平成18年度決算に基づく数値。

2. 「病院経営実態調査報告」欄は、精神科病院の平成18年6月、月間経営に基づく数値。

この調査で精神科病院とは、精神病床が総病床数の80%以上を占める病院をいう。

3. 「その他公的病院」には、日赤、済生会、厚生連、社会保険関係等の病院であり、自治体病院以外の公的病院である。また、「私的病院」とは自治体病院及びその他の公的病院以外の病院であり、公益法人・社会福祉法人、医療法人及び個人病院などである。

県立こころの医療センターの今後の収支見通しについて

県立こころの医療センターでは、精神保健・医療をめぐる環境の変化に対応し、県立の基幹精神科病院としての役割を果たしていくため、老朽化した施設の建替整備を平成14年度より進めているが、このたび、新病棟の運用開始にあたり、収支見通しを作成した。

1 新病院における取組

(1) 精神科救急医療及び重症患者への対応

県立の基幹精神科病院として、精神科救急医療及び重症患者へ対応するため、急性期治療病棟及び集中治療病棟を整備するとともに、看護職員をはじめとする医療従事者の増員を図る。

(2) 地域医療の充実

患者の早期社会復帰を推進するため、地域で患者を支えている様々な機関・団体等との連携や支援に努めながら、外来医療・訪問看護を一層充実するとともに、デイナイトケアを新たに実施する等、地域医療の充実を図る。

2 収支見込みにあたっての基本的事項

(1) 入院収益について

平成19年度	年間入院患者数： 61,722人	→	平成23年度	63,021人
	1日平均患者数： 169人	→		172人
	病床利用率： 95.0%	→		97.0%
	(空床確保2床分を除く)			

(2) 外来収益について

平成19年度	年間外来患者数： 17,150人	→	平成23年度： 24,500人
	1日平均患者数： 70人	→	100人

(3) 新旧病院の施設規模及び人員配置について

	新 病 院	旧 病 院
延 床 面 積	10,794m ² 病棟 (地上4階、地下1階) 外来棟 (地上2階) 生活療法棟 (地上2階・既設)	7,581m ² 北・南病棟 (地上2階) 外来診療棟 (地上2階) サービス棟 (地上1階) 生活療法棟 (地上2階)
病床数 (床)	180床	200床
看 護 体 制	急性期治療病棟 (30床) 10 : 1 その他病棟 (150床) 15 : 1	全病床 (200床) 15 : 1
職 員 数	116人	101人

※看護体制の「10 : 1」は、平均して入院患者10人に対し看護職員1人が勤務していることを示す。

今後の収支見通し

(1) 収益的収支

(単位:百万円)

区 分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
医 業 収 益	1,181	1,281	1,285	1,289	1,294
入 院 収 益	974	1,038	1,042	1,046	1,051
外 来 収 益	206	240	240	240	240
そ の 他	1	3	3	3	3
医 業 外 収 益	312	316	319	317	314
他会計負担金	266	266	269	267	264
そ の 他	46	50	50	50	50
特 別 利 益	1	0	0	0	0
収 益 計 ①	1,494	1,597	1,604	1,606	1,608
医 業 費 用	1,708	1,638	1,728	1,724	1,721
給 与 費	1,218	1,129	1,127	1,124	1,122
材 料 費	209	215	216	216	217
経 費	136	154	157	156	155
減 価 償 却 費	143	138	226	226	225
そ の 他	2	2	2	2	2
医 業 外 費 用	63	69	83	81	79
企業債利息 等	42	47	57	55	53
そ の 他	21	22	26	26	26
特 別 損 失	192	35			
費 用 計 ②	1,963	1,742	1,811	1,805	1,800
当年度収支 ①-②	△ 469	△ 145	△ 207	△ 199	△ 192
累積欠損金	182	328	534	734	927
内部留保資金	381	371	402	392	376

(2) 資本的収支

(単位:百万円)

区 分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
企 業 債	403	976			
他 会 計 負 担 金	8	31	18	66	79
そ の 他					
収 益 計	411	1,007	18	66	79
建 設 改 良 費	405	1,007			
企 業 債 償 還 金	10	27	33	129	153
支 出 計	415	1,034	33	129	153

(3) 一般会計繰入金

(単位:百万円)

区 分	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
収 益 的 収 支	266	266	269	267	264
資 本 的 収 支	8	31	18	66	79
合 計	274	297	287	333	343

(参考) 主要指標の算定方法等について

$$\textcircled{1} \quad \text{経常収支比率(単位: \%)} \\ (\text{医業収益} + \text{医業外収益}) \div (\text{医業費用} + \text{医業外費用}) \times 100$$

病院運営に要した費用が病院運営により得た収益によってどの程度賄われているかを示す指標。この比率が100%以上であることが望ましいとされる。

$$\textcircled{2} \quad \text{職員給与費対医業収益比率(単位: \%)} \\ \text{職員給与費} \div \text{医業収益} \times 100$$

病院は人的サービスが主体となる事業であり、人件費が最も高い割合を占める。このため、人件費をいかに適切なものとするかが病院経営の重要なポイントであるとされる。

$$\textcircled{3} \quad \text{病床利用率(単位: \%)} \\ \text{年延入院患者数} \div \text{年延病床数} \times 100$$

病院の施設が有効に活用されているかどうかを判断する指標。病床利用率が恒常的に低い場合には、病床規模が適切か否か検討する必要があるとされる。

$$\textcircled{4} \quad \text{平均在院日数(一般病床)} \\ \frac{\text{当年度中の延在院患者数}}{\times (\text{当年度の新入院患者数} + \text{当年度の退院患者数})} \div 1 / 2$$

病院に入院した患者の入院日数の平均値。

診療報酬の算定においては、入院期間が短いほど、より高い評価が行われる傾向にある。

$$\begin{aligned} \textcircled{5} \quad & \text{入院診療単価(単位: 円)} \\ & \text{入院収益} \div \text{年延入院患者数} \\ \textcircled{6} \quad & \text{外来診療単価(単位: 円)} \\ & \text{外来収益} \div \text{年延外来患者数} \end{aligned}$$

病院の収入分析をする上で最も基本的な指標。病院の機能度を反映するものであって診療科目、病院の医療機器の整備状況等と深い関連があるとされる。

$$\textcircled{7} \quad \text{医業収支比率(単位: \%)} \\ \text{医業収益} \div \text{医業費用} \times 100$$

医業費用が医業収益によってどの程度賄われているかを示す指標。この比率が100%以上であることが望ましいとされる。

⑧ 材料費対医業収益比率（単位：％）

$$\text{材料費} \div \text{医業収益} \times 100$$

病院において材料費は人件費に次いで大きなウエイトを占める医業費用であるため、この比率が高い場合には、材料の購入価格（方法）を見直し、材料費の節減を図る必要があるとされる。

○ 参考：収入及び費用の構成について

● 医業収益

- ・ 入院収益／外来収益
保険診療による収入に加え、保険適用外の診療による収入を含む。
- ・ 他会計繰入金
一般会計からの繰入金のうち（ア）に相当する額
- ・ その他医業収益
鑑定入院に係る収入等

● 医業外収益

- ・ 他会計繰入金
一般会計からの繰入金のうち（イ）に相当する額
- ・ その他医業外収益
預金利息収入、公舎使用料収益等

○ 他会計繰入金（一般会計からの繰入金） 内訳

（ア）①救急医療の確保に要する経費、②保健衛生行政事務に要する経費

（イ）③病院の建設改良に要する経費（うち企業債利息償還金に係るもの）、
 ④精神科病院の運営に要する経費、⑤医師及び看護師等の研究研修に
 要する経費、⑥病院事業の経営研修に要する経費、⑦共済追加費用の
 負担に要する経費、⑧児童手当に要する経費

● 医業費用

- ・ 給与費
- ・ 材料費
薬品費、診療材料費、給食材料費等
- ・ 経費
医療機器の保守管理等に係る委託料、光熱水費、修繕費、消耗品費等
- ・ 減価償却費
- ・ その他医業費用
研究研修費、資産減耗費等

● 医業外費用

- ・ 企業債利息等
- ・ その他医業外費用
雑損失等